

京阪本線(寝屋川市・枚方市)連続立体交差事業の概要

事業の目的

寝屋川市、枚方市の京阪本線沿線は、大阪近郊の住宅都市として発展してきた地域で、両市の中心となる京阪本線の寝屋川市駅及び枚方市駅周辺は、既に高架化されています。
 しかしながら、両駅間の香里園駅、光善寺駅、枚方公園駅周辺は、平面のままとなっています。
 連続立体交差事業で鉄道を高架化し、踏切を一挙に除去することで、交通渋滞や事故を根本的に解消するとともに、鉄道により分断されていた市街地の一体化を図り、地域の発展に大きく寄与するものです。

地域の現状と課題



歩行者や自転車も長時間待たされており、踏切が開いても人や車が錯綜するため非常に危険です。

【写真】香里学校道踏切



鉄道が地域や学区を分断しており、地域活動の支障となっています。

【写真】光善寺踏切



駅前広場がなく、また府道八尾枚方線に歩道がないため、バスや人、車が混雑して非常に危険な状態です。

【写真】光善寺駅前

事業の概要

- ・事業延長：L=約5.5km（枚方市域 約3.4km、寝屋川市域 約2.1km）
- ・対象駅：3駅（香里園駅、光善寺駅、枚方公園駅）
- ・施工方式：高架方式
- ・除却踏切数：21箇所（※開かずの踏切 20箇所）（※ピーク1時間あたりトータル40分以上閉まっている踏切のこと）
 （枚方市域 15箇所すべて開かずの踏切、寝屋川市域7箇所中、開かずの踏切6箇所）（注：赤井堤防踏切は両市に跨っているため両市でカウント）
- ・関連事業：枚方八尾線、木屋田井線(旧国道170号)の平面化、中振交野線、北中振線、環境側道、駅前広場の整備
- ・事業主体：大阪府、寝屋川市、枚方市

事業による効果

・鉄道の高架化、枚方八尾線、北中振線、中振交野線、環境側道の整備をする。

1.安全で快適なまちの形成

- ・踏切を除去することで交通渋滞が解消され、踏切事故もなくなります。
- ・自動車や、自転車、歩行者の流れがスムーズになります。
- ・環境側道等の整備により消防活動困難地域への緊急車輛の到達がスムーズになります。

・鉄道の高架化及び駅前広場の整備や木屋田井線(旧国道170号)を平面化すると。

2.拠点整備による地域の活性化

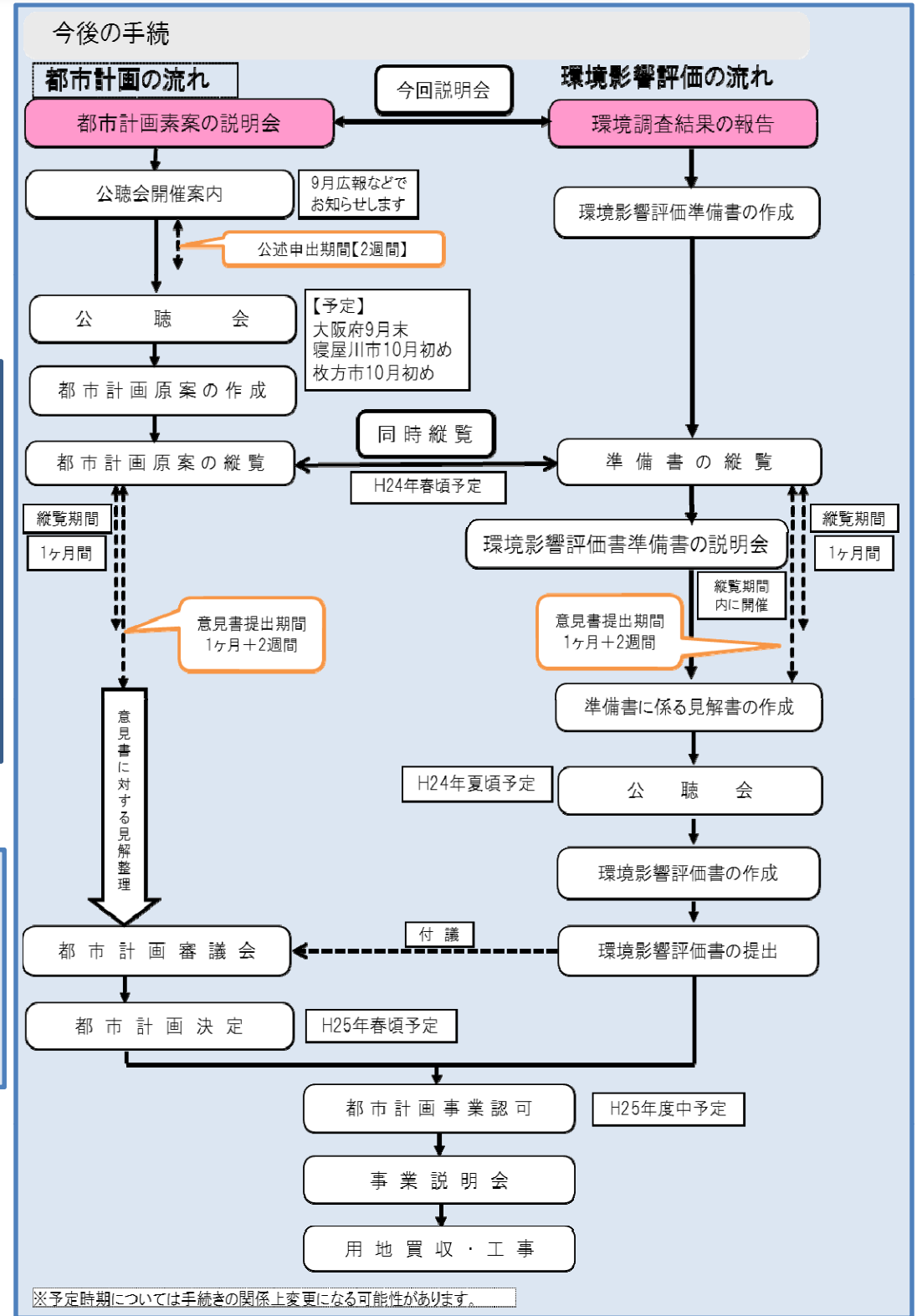
- ・鉄道による市街地の分断が解消され、まちの一体化を図ることにより安全性・快適性の向上が図られ地域の活性化に貢献します。
- ・高架下の効果的な活用により、地域の活性化を図ることができます。
- ・駅前広場の整備により交通結節機能の強化が図れます。
- ・旧国道170号跨線橋の平面化により地域分断が解消され、沿線の土地活用の促進が図れます。

・鉄道の高架化と合わせて駅舎もリニューアルすると。

3.良質な景観の形成と人にやさしい駅の形成

- ・景観や地域性に配慮した駅舎や駅前広場の整備により、優れた街並み景観や、安全で快適な駅を形成します。（エレベーターや誘導ブロック等を設置しバリアフリーに配慮した高架駅の整備）

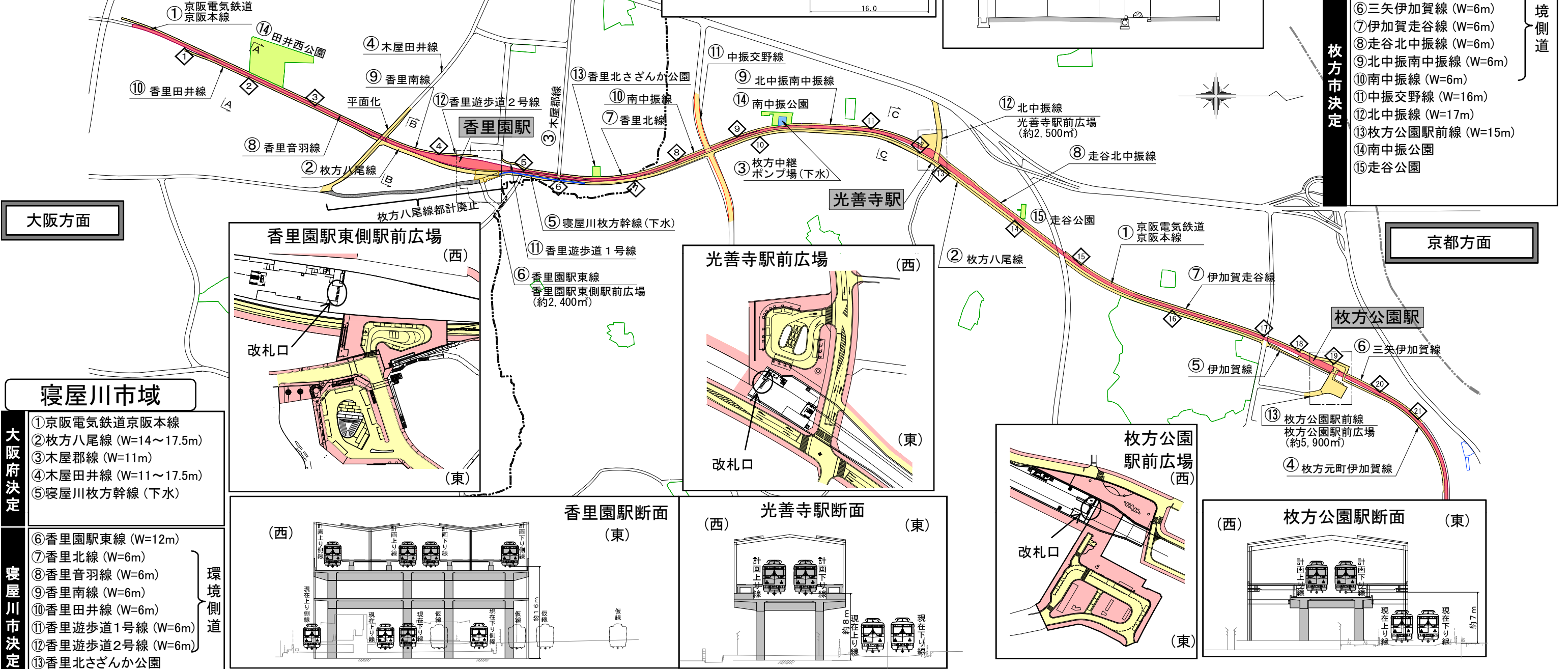
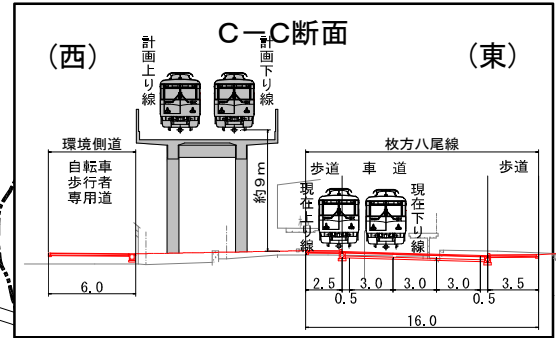
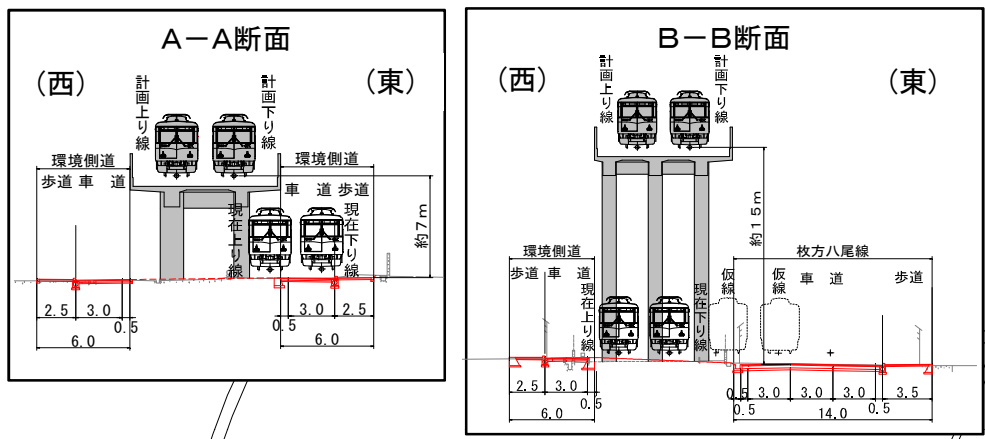
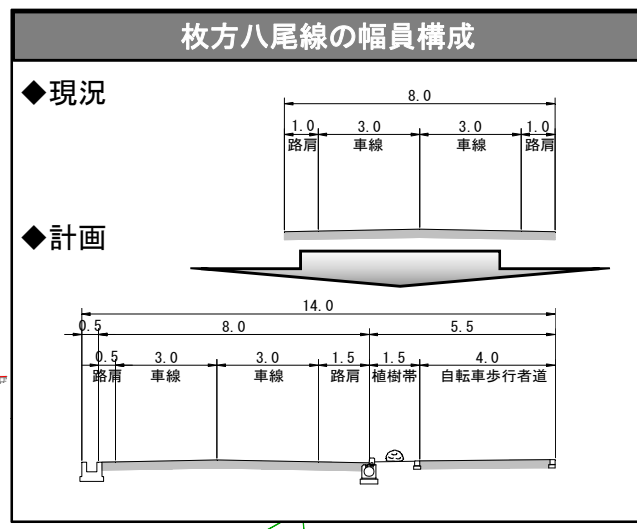
・関連する施設(駅前広場)を整備すると。



都市計画素案概略図

枚方市域

- 大阪府決定**
- ①京阪電気鉄道京阪本線
 - ②枚方八尾線 (W=14~16m)
 - ③枚方中継ポンプ場(下水)
- 枚方市決定**
- ④枚方元町伊加賀線(W=6m)
 - ⑤伊加賀線 (W=6m)
 - ⑥三矢伊加賀線 (W=6m)
 - ⑦伊加賀走谷線 (W=6m)
 - ⑧走谷北中振線 (W=6m)
 - ⑨北中振南中振線 (W=6m)
 - ⑩南中振線 (W=6m)
 - ⑪中振交野線 (W=16m)
 - ⑫北中振線 (W=17m)
 - ⑬枚方公園駅前線 (W=15m)
 - ⑭南中振公園
 - ⑮走谷公園
- 環境側道



大阪方面

京都方面

- ### 寝屋川市域
- 大阪府決定**
- ①京阪電気鉄道京阪本線
 - ②枚方八尾線 (W=14~17.5m)
 - ③木屋郡線 (W=11m)
 - ④木屋田井線 (W=11~17.5m)
 - ⑤寝屋川枚方幹線(下水)
- 寝屋川市決定**
- ⑥香里園駅東線 (W=12m)
 - ⑦香里北線 (W=6m)
 - ⑧香里音羽線 (W=6m)
 - ⑨香里南線 (W=6m)
 - ⑩香里田井線 (W=6m)
 - ⑪香里遊歩道1号線 (W=6m)
 - ⑫香里遊歩道2号線 (W=6m)
 - ⑬香里北さざんか公園
 - ⑭田井西公園
- 環境側道

